

身近な地質スポット

静岡県駿河区大谷／「大谷川放水路」 おおやがわ

今回は、静岡市中心街を流れる治水放水路の紹介です。

大谷川放水路は、巴川流域の治水対策の一環として建設された人工の水路で、葵区古庄で巴川（二級河川）から分流し、駿河区大谷で駿河湾に注ぎます。

巴川は、葵区北部を起点とし、文珠岳山麓、安部川扇状地、日本平に行く手を阻まれながら、蛇行して清水港に注ぐ、河川勾配の緩やかな河川です。巴川の水位は近くの安倍川と比較し15m程度低く、本流域は古くより洪水の被害に悩まされてきました（図-1）。

このため、巴川流域の浸水被害を軽減すべく、麻機遊水池、大谷川放水路、大内遊水池、河道改修、雨水貯留施設などの治水対策事業が現在も進行中です（図-2）。

大谷川放水路は、建設計画のさなか、1974年7月に七夕豪雨の被害を受け、同年建設が開始され、1999年、実に25年の歳月をかけ完成しました。分流地点にはゴム堰（ゴム引布製起伏堰／写真-1）が設置され、一定水位を超えると自動でゴムチューブ内の空気が抜け、分流が開始されます。また、河口部には防潮水門（写真-2）が設けられ、海水の遡上を防止しています。

静岡市では、治水対策事業や過去の水害についての学び場を提供し、市民の防災意識の向上を促し、災害に強いまちづくりの推進を図ることを目的に、治水交流資料館「かわなび」を開設しています。誰でも無料で、映像や模型等の展示により、巴川の治水事業を知り、学び、楽しむことができます。

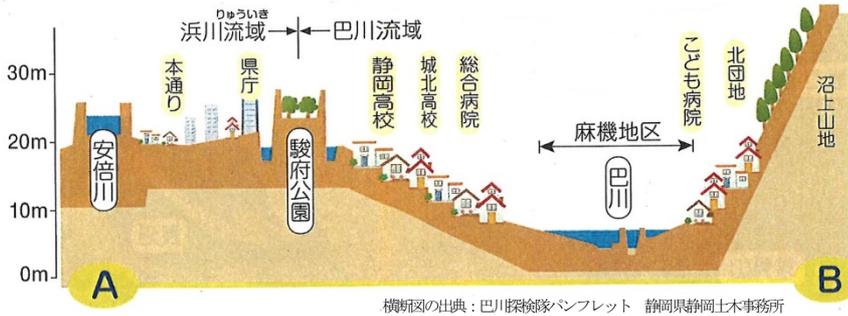


図-1 静岡市中心部の横断面図



図-2 巴川流域治水対策マップ



写真-1 古庄分流堰（ゴム堰）

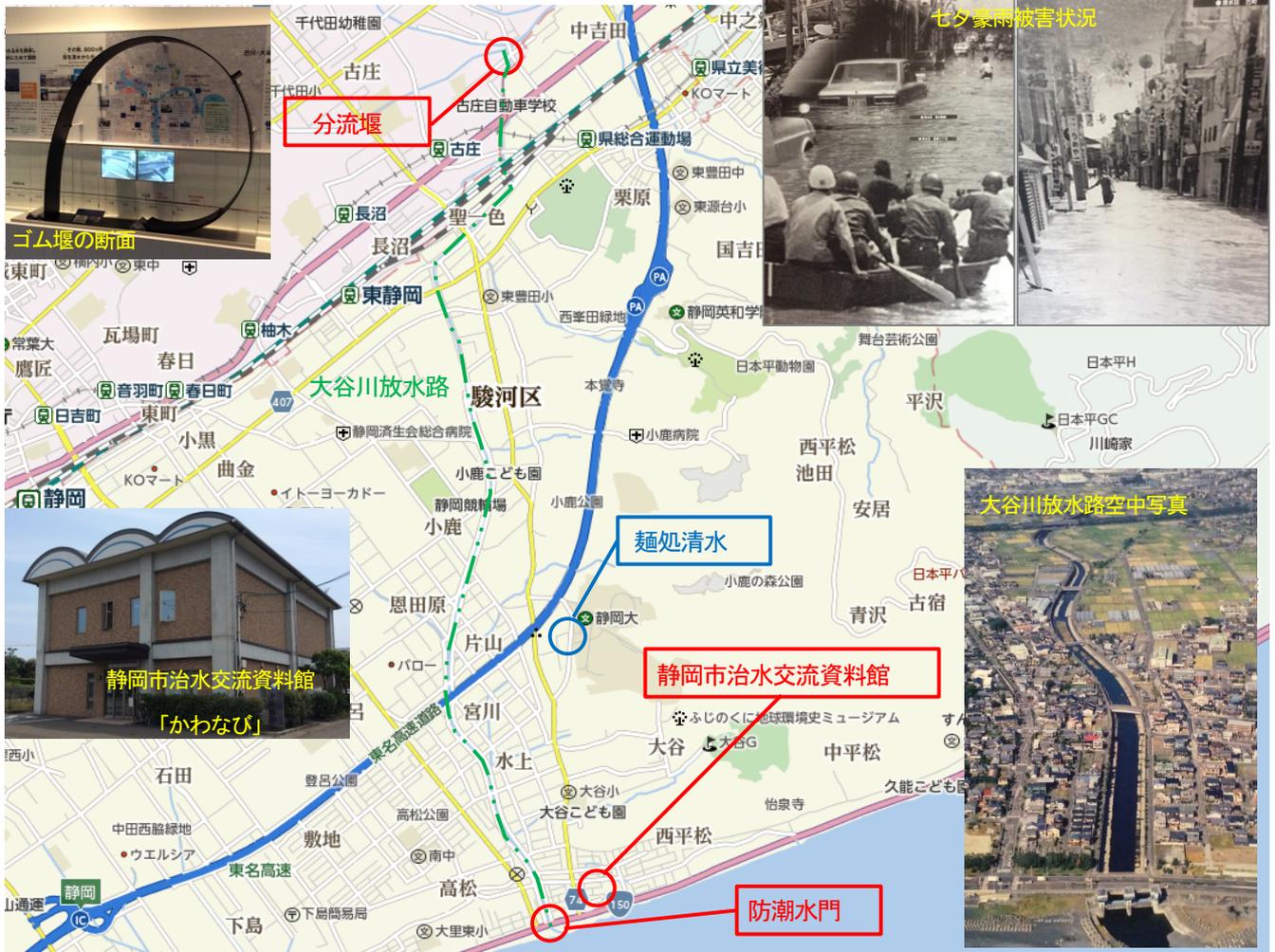


写真-2 河口にある大谷川水門

余談ですが、

この地質スポットの近くにはこんなお店がありました。

麺処清水



地図の出典：NAVITIME ホームページ <https://www.navitime.co.jp>

注) 「かわなび」 展示品等の写真は、許可を得て筆者が撮影したものです。

麺処清水／外観



場 所：静岡市駿河区大谷 4610-1
営業時間：11:30～14:30、18:00～20:30
定休日：月曜日、第2・第4木曜日

鶏だしのさっぱりとした中にしっかりしたコク。
洗練された具材、一つ一つのおいしさに感動。
塩、醤油があり、どちらも満足できる一杯でした。
濃厚豚骨魚介のラーメン、つけ麺もあります。
静岡大学正門前にあるだけあって、学生が多く、
会社員、作業員もいて大人気。

量の選択肢が多く、トッピングも豊富。
ネギチャーシュー丼はゴマ油が効いて
いて絶品でした。
コショウは粉末より粗挽きがお似合い。
店内はラーメン屋とは思えぬ、垢抜けた
おしゃれな空間でした。

